ボーリング柱状図

調　査　名　平成16年度標津断層帯調査業務委託

事業・工事名　平成16年度地震関係基礎調査交付金事業

ボーリングNo. 4

シートNo. 1

ボーリング名	S04-Ka-1	調査位置	標津郡標津町字北川北					北緯	43° 40' 4.8"
発注機関	北海道立地質研究所　地域地質部			調査期間	平成 16年 10月 20日 ～ 16年 10月 24日			東経	144° 57' 50.8"
調査業者名	サンコーコンサルタント株式会社　札幌支店 電話（011-837-5537）	主任技師	田邊　謹也	現場代理人	越谷　賢	コア鑑定者	越谷　賢	ボーリング責任者	中村　幸彦
孔口標高	132.29m	角度	180° 上 90° 下 0° 0°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	水平 0° 鉛直 90° 0°	使用機種	
総掘進長	30.00m					試錐機	利根TDC-1	ハンマー落下用具	トンビ
						エンジン	ヤンマーNFD-12	ポンプ	

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位(m)／測定月日
	131.78	0.51	0.51		表土	黒褐			腐植土。橙色軽石円礫が挟在。	
	131.53	0.18	0.76		軽石	黄褐			最大径2cm程。亜円。(Km-1f?)	
1	131.01	0.52	1.28		腐植土	黒褐			橙色軽石が散在する。	
					シルト質砂	暗褐灰			草根混在。所々橙色・灰色軽石(径5mm以下)が散在する。	
2	130.03	0.98	2.26		軽石	褐～橙褐			亜角～亜円。火山礫が散在する。上位層へ漸移。(Ma-1)	
	129.91	0.12	2.38		火山灰質シル	灰褐			ローム質。塊状で根跡見られる。	
	129.38	0.53	2.91		礫混り砂	灰褐			葉理が発達し、礫(径10mm程度)が散在する。2.38～2.50mは安山岩礫を採取。	
3										
4										
5										
6					砂礫	灰～暗褐灰			円～亜角礫が主体。礫種は安山岩が主体で、稀にデイサイト・珪長岩を含む。基質は細粒～中粒砂だが、所々シルトが混在する。 礫径は20mm程が主体で、一部切長10cm程度の安山岩礫を採取。腐り礫は見られない。 6.46～7.33・8.35～8.75m:シルト質砂礫が挟在。	
7										
8										
9	122.71	6.67	9.58							
10										
11										
12										
13										
14										10/21 14.65 ▽
15										
16										
17					シルト混り砂礫	灰褐～褐灰			不淘汰塊状で礫径・含礫率は変化に富む。上位層に比較し褐色味が強く、腐り礫が認められるようになる。円磨度は円～亜角。基質はシルト混り粗粒砂。一部火山灰質砂の薄層が挟在する。 礫種は安山岩を主体とするが、デイサイト・凝灰質砂岩等の混在が目立つ。 礫径は10～50mm程度が多く、所々切長10cm程度の礫(安山岩が主体)を採取する。	
18										
19										
20										
21										
22										
23										
24										
25										
26										
27	105.34	17.37	26.95							
	104.94	0.40	27.35		火山灰質砂	褐			葉理が発達するシルト混り中～粗粒砂。径1cm程度の円礫が散在す	

標準貫入試験 深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量 (cm)	N値 0 10 20 30 40 50 60

原位置試験 深度 (m)	試験名および結果

試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法
2.26	304-Ka-1-2.26	

室内試験（）	掘進月日
	10/20
	10/21
	10/22
	10/23

27	105.34	17.37	26.95						
	104.94	0.40	27.35	火山灰質砂	褐			葉理が発達するシルト混り中～粗粒砂。径1cm程度の円礫が散在する。	
28				シルト混り砂礫	灰褐～褐灰			径20～40mmの円～亜角礫が主体で一部切長5～10cmの安山岩礫を採取。礫種は安山岩･デイサイトが主体。基質はシルト混り中～粗粒砂。腐り礫を含む。	
29									
30	102.29	2.65	30.00					上部は基質支持、下部は礫支持。	